CLINIC BAMBOO　10月号に掲載されました！！

平成28年10月1日発行　通巻427号　毎月1回1日発行　昭和58年2月14日第三種郵便物認可

小さな気遣いと工夫が医師マネジメントを成功させる

CLINIC BAMBOO　今日と明日の開業医をサポートする——最新クリニック総合情報誌　ばんぶう　10　OCT.2016 VOL.427

［特集］診療所の成長に欠かせない採用と定着

ほしい人材が集まる 医師リクルート大作戦!!

山中 修　ポーラのクリニック 院長

大場俊二　医療法人 大場整形外科院長

関口由紀　医療法人LEADING GIRLS 女性医療クリニック・LUNAグループ理事長

磯崎哲男　医療法人社団 小磯診療所理事長

村上典由　医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック 在宅診療部事務長

菊池龍之　株式会社コヨーデ 代表取締役

CLINIC BAMBOO 10 OCT.2016 VOL.427　抜き刷り

特別企画

生活習慣や食事の改善、「イサゴール®」の活用など薬に頼らない治療で患者の満足度を向上

QOLを高める排便コントロールの工夫

慢性的な不通や便秘に悩まされる人は少なくない。また、在宅医療や介護の現場では、排泄ケアが介護者にとっての負担につながることから、排便コントロールは患者やその家族、介護者のQOLを高めるうえで重要なアプローチとなっている。ここでは、薬だけに頼ることなく生活習慣や食事の改善、食物繊維加工食品「イサゴール®」（フィプロ製薬株式会社）の活用など幅広い視点から排便コントロールのアドバイスを行っている。しば胃腸こうもんクリニックの佐藤幸宏院長に、自院の取り組みを紹介してもらった。

撮影＝工藤ケイイチ

肛門外科を中心に専門性の高い治療を展開

2013年7月に開院した、しば胃腸こうもんクリニックは、佐藤幸宏院長が専門とする肛門外科を中心に、消化器内科、外科の診療を展開している。当初は芝・三田近隣で働くサラリーマンをメインターゲットに想定していたが、実際に診療がスタートすると地域住民の割合も比較的多く、1日に30人ほどが受診する。

大きな特徴は、専門性の高さだ。同院では手術設備を設け、月に30件程度の外科手術を行っている。診療所であっても緊急手術を実施しており、24時間で対応する。これについて佐藤院長は、「手術のなかで鼻も多い痔については、痛みがあってもギリギリまで我慢してしまう患者さんも少なくありません。私は救急医療に従事していたこともありますので、痛みを抱える患者さんの不安などは理解しているつもりです。そうしたニーズに対応すべく、緊急手術を行っています」と話す。

また、新しい治療法も積極的に取り入れる。たとえば、痔核治療の一環として行っているジオン注射による注射療法根治術は、薬によって無菌性の炎症を起こして血管を閉塞することで痔を退縮させ、止血を行う治療法。切除術よりも患者の負担が軽減されるのが特徴で、ホームページなどで調べて、同治療を受けるために遠方から受診する患者もいる。

専門性を発揮して患者の負担を軽減する佐藤院長が診療において重視しているのが、薬に頼りすぎないことだという。というのも、最も多い排泄障害である便秘については市販の下剤を常用している患者が多く、それが大きな問題になっていると佐藤院長は指摘する。

「大腸を刺激する薬は、服用が常態化すると耐性ができて効果が同

「患者さん一人ひとりとじっくりコミュニケーションをとって診療を行っていきたいと話す佐藤幸宏院長

生活習慣や食事について具体的なアドバイスを行う

2016.10 CLINIC BAMBOO

おなかの調子を整える ヨーグルト風味のゼリー イサゴール

「特定保健用食品ゼリージュース イサゴール®（アセロラ味）」。水に溶かして手軽に摂取できる

まってしまいます。結果として適量を超えて服薬したり、治療がスムーズに進まないという悪循環に陥ってしまうこともあるのです」

こうした問題意識から佐藤院長は、患者とコミュニケーションを取りながらその生活スタイルなどについて聞取し、さまざまな提案を行って、症状の改善につなげていくことを大切にしている。たとえば、便秘の改善においては朝決まった時間にトイレに行く習慣をつけることが効果的だが、朝はバタバタと準備をしてゆっくりトイレに行く時間も場所もないという患者もいるなど、さまざまなケースでは、患者の生活についてよく話を聞きながら、「どのタイミングでどの場所ならトイレに行けそうですか」と問いかけ、相手に気づきを促すようにしている。

生活習慣とともに重視しているのが食事だ。

「ダイエットをしている方のなかには炭水化物を制限しているために、胃腸が活発に動かず、便秘になってしまう人もいます。食事のバランス、質といった視点からアドバイスをしています。ポイントは、具体的に伝えること。単に食物繊維をできるだけ摂ってください、と言われても、どんな食品をどれくらい食べればいいのかわかりません。私の場合、ごぼう、とってもいいですよ、などわかりやすく指導しています」と佐藤院長は話す。

継続して飲み続けられる「イサゴール®」をすすめる

こうした幅広いアドバイスの一環として、佐藤院長が患者に積極的にすすめているのが、フィプロ製薬株式会社が製造・販売する特定保健用食品「イサゴール®」だ。インド産のオオバコの種皮、サイリウム（を主成分とする食物繊維加工食品で、粘性と吸水性が高いという特性から水分を吸収して大きく膨らみ、腸内のぜん動運動を活発にして消化や排泄を促す。また、便をまとめる働きがあり、あまり力まずに排便できるようになることから、便秘と痔を併発している患者にもおすすめだと佐藤院長は言う。

「イサゴール®シリーズには、『特定保健用食品ゼリージュース イサゴール®（アセロラ味）』と、快適イサゴール®（ピーチ味）、『EDF味のないタイプ』の3つがラインアップされている。いずれも軽く摂取できるとの評価を得ているが、開院では特定保健用食品ゼリージュースイサゴール®（アセロラ味）をすすめており、希望する患者には販売も行っている。

『食物繊維は日常的に摂取し続けることが切なので、飽きずに続けられるようにアドバイスも行っています。また、昼ごはんは朝を食べなかったり、生活習慣が乱れて便秘がちな若い方も増えていますが、イサゴール®は食品ですので、下剤を好まれない方や若い方でも安心して摂取できるのが利点です。『あまり薬を飲みたくない』と考えている方から見ても非常に好評です』と、佐藤院長は言う。

肛門外科の専門診療を展開しながら、老若男女の胃腸科、肛門科疾患に関するかかりつけ医として、薬剤のみに頼らず、生活の質を高める視点から診療を行っている佐藤院長。「患者さんの思いや意図を理解したうえで、そこから外れないような治療を行うことが私の理想です。外来の人数が増えてくると患者さん一人ひとりの診察時間が短くなってしまうというジレンマがありますが、きちんと話を聞くということは、これからも続けていきたいと思っています」と、意欲を見せる。

DATA

しば胃腸こうもんクリニック
東京都港区芝4-11-6　KTビル3F
TEL：03-6453-8307
URL：http://shibaiangel.com/
診療時間：日/祝 胃腸科

CLINIC BAMBOO 2016.10